



自然の脅威について再確認

今年は秋雨前線が活発に活動し、秋の長雨となっています。日本各地においても水害による被害が多く報告され、連日の報道でも伝えられています。今一度自然災害について家族で話し合い、災害時の行動について確認をお願いします。

さて、近年日本各地で「熊出没」情報が伝えられています。本校においても18日に予定されていた林間学校の延期を余儀なくされました。林間学校直前であったことや、活動施設内での目撃情報により、子供たちの安全を最優先に考え、年明けのスキー教室を宿泊で実施することに振り替え、5年生保護者説明会を開催しました。今年も熊対策として、例年班ごとに活動していた自然散策を、現地ガイドを活用した全員での自然散策に変更しました。しかし、施設内（柵で囲まれている）においてまで、熊出没の報告があるとは思いませんでした。今回のことを教訓に次年度以降の林間学校については、職員と十分に議論し安全第一で考えていかなければなりません。そこで、

1. 「想定外」を作らない情報収集

危機管理の基本は、「もしも」の最悪の事態を想定し、それを未然に防ぐことにあります。

熊の出没情報に対し、学校では単に「大丈夫だろう」という楽観的な判断を一切排除しなければなりません。そのため、安全な林間学校実施のために、以下のような多角的な視点からリスクマネジメントを行っていきます。

- ・ 地元、役場等との情報共有
- ・ 現地での駆除状況や、出没が常態化しているかどうかの傾向
- ・ 万が一の遭遇時における、引率教員の対応能力や現地の緊急体制

2. 「教育的価値」よりも「命の安全」を最優先する基準

学校行事には、子供たちに自然を体験させ、成長を促すという大きな教育的意義があります。しかし、どんなに素晴らしい体験であっても、子供たちの「生命の安全」に勝るものは絶対にありません。「子供たちを危険に晒す可能性がわずかでもあるならば、計画に固執せず、勇気をもって立ち止まる」これが、今回の危機管理における私たちの絶対的な基準です。今後、この基準に照らし合わせ、以下の方向性で具体的な調整を進めています。

- ・ 宿泊学習の意義の再確認（再定義）
- ・ 活動地域そのものの変更
- ・ 熊の生息・出没リスクが極めて低い、安全が確認できる別地域への代替。
- ・ 行程や内容の大幅な見直し。
- ・ 宿泊を伴うが、安全性がより確保しやすい内容や日程への変更・再構築。

3. 保護者の皆様と情報を共有し、共に歩む体制

このような状況の中で、予定の変更や再検討を余儀なくされることは、子供たちの期待を考えると大変心苦しい苦渋の選択です。しかし、予測が難しい自然の脅威に対しては、学校が組織として冷静かつ迅速に対応し、保護者の皆様と共有することが信頼関係の基盤であると考えております。子供たちが安全な環境のもとで、心から安心して学び、成長できる時間を守るため、学校一丸となって最善の判断を下してまいります。保護者の皆様におかれましては、何卒御理解と御協力を賜りますようお願い申し上げます。

心も体も体も整えて

毎朝子供たちの登校にあわせて玄関で挨拶したり、下駄箱を整頓したりしています。前にもお伝えしましたが、楡形地区は全ての学校で「かかとそろえ」に取り組んでいます。本校においても多くの子供たちが意識して、かかとをそろえている姿をうれしく思っています。また、学級によっては当番活動で確認し、整えてる学級もあります。

さて、そんな中ちょっと気になっていることがあります。それは「かかとがを踏んである靴」が多いことです。もちろん上履きについても同じ事です。靴のかかとを踏むことは安全面からも容認できることではありません。しかし、何よりもその物の本来の機能が失われることや、身の回りを整える観点から直していく必要があります。

学校では、身なりを整えることは単なる外見だけでなく、「自分の心や行動を律し、周りの人や物を大切にする心（人間形成）」につながる大切な学びであると考えています。靴を正しく履くことも、その大切な第一歩です。かかとを踏む行為は、心や生活の乱れにつながるだけでなく、子供たちの安全や健康面においても以下のようなさまざまなリスクを引き起こします。

- ・思わぬ大けがの原因： かかとが浮いているため足元が不安定になり、階段や廊下で転倒しやすくなります。
- ・足の健やかな成長への悪影響： 正しい歩き方ができず、足の変形や姿勢の崩れ、疲れやすさの原因につながります。
- ・心の成長（人間形成）への影響： 物事に対する向き合い方や自立心、周囲への配慮にも影響を及ぼすことがあります。
- ・靴の破損： 靴の寿命が縮むだけでなく、本来の機能（衝撃吸収やホールド力）が失われます。

学校でも折に触れて指導を行っていますが、身についた習慣を定着させるためには、御家庭での声かけや見守りが何よりも大切です。つきましては、お子様が登下校や外遊びの際に正しい履き方をしているか、今一度御家庭でも以下の点について御確認と御指導をお願いいたします。

【御家庭でお願いしたいポイント】

- ・心構えを育てる声かけ： 「身なりを整えることは、自分の心を整えることだよ」「靴を正しく履くとかっこいいよ」など、内面を育む声かけをお願いします。
- ・玄関での見守り： 出発する際、「かかとをしっかりと入れて履こうね」と習慣づけを見守ってください。
- ・靴のサイズ確認： 足のサイズに合っていない靴はかかとを踏みやすくなります。定期的にサイズや状態を御確認ください。

子供たちの安全と、心身の健やかな成長を守るため、御家庭と学校が連携して指導にあたりたいと考えております。皆様の御理解と御協力を、何卒よろしくお願い申し上げます。